



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社  
 コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松浦 賢治  
 (氏名) 荻田 透  
 配当支払開始予定日

TEL 092-472-7311  
 平成27年12月4日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,462	7.2	871	40.3	985	39.0	598	55.6
27年3月期第2四半期	15,359	12.2	621	14.0	708	7.9	384	7.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 420百万円 (△28.0%) 27年3月期第2四半期 583百万円 (△12.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	70.94	—
27年3月期第2四半期	45.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,374	11,863	48.4
27年3月期	22,582	11,418	48.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,312百万円 27年3月期 10,869百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	19.00	30.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	6.3	1,600	16.3	1,770	13.3	1,040	33.5	123.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、添付資料4ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細につきましては、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	8,640,000 株	27年3月期	8,640,000 株
28年3月期2Q	208,809 株	27年3月期	208,770 株
28年3月期2Q	8,431,221 株	27年3月期2Q	8,431,272 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、世界経済は先進国を中心に緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、顕在化する中国の景気減速が資源国に与える影響が懸念されており、先行き不透明感が強くなってきています。一方、日本経済は持ち直しの動きが弱まり、足踏み状態となりました。輸出や個人消費が伸びず、設備投資には様子見の姿勢が見受けられました。

このような経済環境のもと、当社グループでは中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」に基づく施策を推し進め、経営課題の解決と経営目標の達成に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高164億62百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は8億71百万円（同40.3%増）、経常利益は9億85百万円（同39.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億98百万円（同55.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (鉄鋼業界)

同業界では、国内の鋼材需要低迷と海外からの安価な鋼材流入が影響し、在庫調整が長期化した結果、国内粗鋼生産量は前年同期を下回りました。また、主要生産国である中国をはじめとして、世界的にも減産の動きが拡大しました。

当社グループにおきましては、粗鋼減産の影響で生産比例品の販売が伸び悩んだものの、生産性や品質の向上、コストダウン、省エネに繋がる提案営業に努めたことで、ベアリング再生等の売上が増加しました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は52億1百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

#### (自動車業界)

同業界では、国内の自動車生産や輸出が低調だった反面、海外、特に北米における好調が続いたことで海外生産は前年同期を上回り、円安効果も相まって自動車大手の収益環境は好転しました。一方、工作機械受注はスマートフォン向けの落ち込みが響き、前年同期を下回ったものの、自動車や航空機向けは堅調に推移しました。

当社グループにおきましては、自動車メーカー向け陽極酸化処理装置や自動車部品メーカー向けメッキ剥離装置が売上増に貢献しました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は37億42百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

#### (電子・半導体業界)

同業界では、パソコン需要の低迷が影響し、世界半導体売上高は前年同期を下回りました。一方、国内では半導体製造装置の販売が持ち直したものの、受注は下げ止まらず厳しい状況が続きました。

当社グループにおきましては、メンテナンス案件の取り込みに注力し、フィルターやシール製品の販売が伸びたものの、前年同期に半導体後工程の検査設備向け大口案件があった分のマイナスを補うことができませんでした。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は15億59百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

#### (ゴム・タイヤ業界)

同業界では、国内の自動車生産が低迷した影響で、国内のタイヤ生産も前年同期を下回る推移となりましたが、海外におけるタイヤ生産は増加しており、欧米や中国をはじめとする新興国で設備を増強する動きが続いています。

当社グループにおきましては、大手タイヤメーカーの海外向け設備投資案件を着実に捉え、バルブの販売が増加しました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は17億14百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

#### (高機能材業界)

同業界では、汎用化学品の国内生産を縮小する一方で、国内外で高機能品への投資が活発化しており、研究施設を新設あるいは増設する動きも見受けられました。

当社グループにおきましては、プラント向け真空ポンプや樹脂フィルム製造用圧延ロールなどが売上増に貢献しました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は7億2百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

(環境業界)

同業界では、環境装置受注は官公需に浮き沈みが見られたものの、民需は総じて好調で前年同期を上回りました。当社グループにおきましては、廃棄物処理設備の漏洩機器改造やシールド掘進機用回転継手などが売上増に貢献しました。

この結果、環境業界向け全体としての売上高は8億44百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

(紙パルプ業界)

同業界では、紙の国内出荷は低迷が続き、パルプや紙おむつ等の海外事業でカバーする動きが見られました。当社グループにおきましては、製紙設備に使用されるミキサーやポンプなどが売上増に貢献しました。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は3億59百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し168億44百万円となりました。これは主に現金及び預金が6億42百万円、売上債権が2億15百万円、有価証券が1億円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し65億30百万円となりました。これは主に有形固定資産が1億48百万円増加し、一方で投資有価証券が4億94百万円減少したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、233億74百万円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し100億47百万円となりました。これは主に仕入債務が35百万円、短期借入金が66百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27.4%増加し14億63百万円となりました。これは主に長期借入金が4億円増加したことなどによるものです。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、115億10百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し118億63百万円となりました。これは主に利益剰余金が6億29百万円増加し、一方でその他有価証券評価差額金が1億95百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の実績を踏まえ下期の不透明な経済情勢を考慮し、平成27年10月22日に通期の業績予想の修正を公表いたしました。詳細につきましては平成27年10月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度まで非連結子会社であった「リックステクノ株式会社」を、重要性が増したため連結の範囲に含めております。なお、同社は特定子会社には該当していません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,689,310	3,331,662
受取手形	1,127,495	1,147,273
電子記録債権	816,097	1,053,968
売掛金	9,766,312	9,723,972
有価証券	-	100,000
商品及び製品	838,122	787,963
仕掛品	146,506	263,869
原材料及び貯蔵品	64,422	68,988
その他	385,345	366,986
貸倒引当金	△415	△421
流動資産合計	15,833,197	16,844,263
固定資産		
有形固定資産	1,984,852	2,133,096
無形固定資産	75,990	115,169
投資その他の資産		
投資有価証券	3,820,644	3,326,197
その他	883,659	962,940
貸倒引当金	△15,800	△7,302
投資その他の資産合計	4,688,503	4,281,835
固定資産合計	6,749,346	6,530,101
資産合計	22,582,543	23,374,365
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,800,947	1,931,485
電子記録債務	2,084,450	2,129,933
買掛金	3,234,817	3,094,654
短期借入金	1,649,545	1,716,010
未払法人税等	295,726	344,048
役員賞与引当金	-	38,946
その他	949,854	792,158
流動負債合計	10,015,341	10,047,236
固定負債		
長期借入金	-	400,000
役員退職慰労引当金	132,960	147,740
退職給付に係る負債	518,898	522,504
その他	496,742	393,363
固定負債合計	1,148,602	1,463,609
負債合計	11,163,943	11,510,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	8,430,273	9,059,976
自己株式	△122,590	△122,644
株主資本合計	9,819,568	10,449,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	912,324	716,538
為替換算調整勘定	91,525	102,015
退職給付に係る調整累計額	46,560	44,354
その他の包括利益累計額合計	1,050,410	862,908
非支配株主持分	548,622	551,394
純資産合計	11,418,600	11,863,519
負債純資産合計	22,582,543	23,374,365



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	15,359,501	16,462,696
売上原価	12,300,223	13,003,062
売上総利益	3,059,277	3,459,633
販売費及び一般管理費	2,438,174	2,588,375
営業利益	621,102	871,258
営業外収益		
受取利息	4,923	5,466
受取配当金	23,227	30,510
持分法による投資利益	15,521	26,672
不動産賃貸料	8,084	8,287
為替差益	18,270	12,994
投資事業組合運用益	7,975	14,012
その他	18,881	20,903
営業外収益合計	96,885	118,847
営業外費用		
支払利息	3,513	3,776
その他	5,726	1,028
営業外費用合計	9,239	4,804
経常利益	708,748	985,301
特別利益		
固定資産売却益	-	1,408
保険解約返戻金	2,299	-
特別利益合計	2,299	1,408
特別損失		
固定資産売却損	20	32
減損損失	101	204
固定資産除却損	557	4,614
投資有価証券評価損	1,000	-
会員権評価損	4,300	-
特別損失合計	5,979	4,851
税金等調整前四半期純利益	705,069	981,858
法人税等	303,611	358,387
四半期純利益	401,457	623,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,988	25,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	384,468	598,109

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	401,457	623,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207,850	△210,820
繰延ヘッジ損益	2,723	-
為替換算調整勘定	△28,685	10,490
退職給付に係る調整額	88	△2,206
持分法適用会社に対する持分相当額	289	△753
その他の包括利益合計	182,267	△203,290
四半期包括利益	583,725	420,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530,610	410,607
非支配株主に係る四半期包括利益	53,115	9,571

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	705,069	981,858
減価償却費	110,033	99,448
減損損失	101	204
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	25,026	38,946
未払役員賞与の増減額(△は減少)	△55,446	△50,813
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,232	357
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△122,390	14,780
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△107	△8,492
受取利息及び受取配当金	△31,624	△35,976
支払利息	3,513	3,776
為替差損益(△は益)	△396	1,656
持分法による投資損益(△は益)	△15,521	△26,672
固定資産除却損	557	4,614
有形固定資産売却損益(△は益)	20	△1,375
投資有価証券評価損益(△は益)	1,000	-
投資事業組合運用損益(△は益)	△7,975	△14,012
会員権評価損	4,300	-
売上債権の増減額(△は増加)	△220,692	△125,016
たな卸資産の増減額(△は増加)	133,951	△39,845
その他の資産の増減額(△は増加)	121,188	20,766
仕入債務の増減額(△は減少)	△385,166	△46,540
未払消費税等の増減額(△は減少)	56,243	△118,243
その他の負債の増減額(△は減少)	49,508	△33,900
小計	382,425	665,518
利息及び配当金の受取額	32,283	36,635
利息の支払額	△4,361	△3,690
法人税等の支払額	△435,662	△304,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,316	394,120
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△475,220	△520,632
定期預金の払戻による収入	475,280	517,027
信託受益権の取得による支出	△988,647	-
信託受益権の償還による収入	1,081,613	-
有形固定資産の取得による支出	△47,399	△209,024
有形固定資産の売却による収入	27	1,532
投資有価証券の取得による支出	△58,257	△3,364
投資有価証券の売却による収入	26,900	123,650
関係会社出資金の払込による支出	△100,000	△54,812
貸付けによる支出	△5,215	△6,375
貸付金の回収による収入	7,950	7,767
その他の支出	△26,884	△72,257
その他の収入	7,825	4,571
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,025	△211,916

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	21,143,150	22,009,965
短期借入金の返済による支出	△20,776,905	△21,943,550
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	△2,010	-
リース債務の返済による支出	△8,209	△8,347
自己株式の取得による支出	-	△54
配当金の支払額	△109,838	△159,902
非支配株主への配当金の支払額	△6,800	△6,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,386	291,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,300	6,299
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	97,745	479,814
現金及び現金同等物の期首残高	1,821,563	2,172,282
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	158,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,919,308	2,811,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への売上高	5,104,611	3,282,969	1,609,373	1,419,612	625,498	611,555	297,723	12,951,345
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,104,611	3,282,969	1,609,373	1,419,612	625,498	611,555	297,723	12,951,345
セグメント利益	424,720	198,690	93,034	48,762	44,419	39,687	20,017	869,330

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	2,408,156	15,359,501	—	15,359,501
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,408,156	15,359,501	—	15,359,501
セグメント利益	140,114	1,009,445	△388,342	621,102

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △388,342千円には、内部利益 283,322千円、連結消去 129,476千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △801,140千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	高機能材	環境	紙パルプ	計
売上高								
外部顧客への売上高	5,201,565	3,742,614	1,559,088	1,714,741	702,460	844,149	359,183	14,123,802
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,201,565	3,742,614	1,559,088	1,714,741	702,460	844,149	359,183	14,123,802
セグメント利益	455,590	210,747	101,573	120,596	48,393	60,934	21,004	1,018,840

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	2,338,893	16,462,696	—	16,462,696
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,338,893	16,462,696	—	16,462,696
セグメント利益	155,228	1,174,069	△302,811	871,258

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △302,811千円には、内部利益 380,961千円、連結消去 186,483千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △870,255千円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません